

『傳説の時代』 序

夏目漱石

青空文庫

私はあなたが家事の暇を偷ぬすんで『傳説の時代』をとう／＼仕舞しまひ迄まで譯し上げた忍耐と努力に少からず感服して居ります。書物になつて出ると餘程よほどの頁數になるさうですが嘸骨さぞの折れた事でせう。原書は私の手元にもあるから承知してゐますが、一寸ちよつと見ると四六版の小形の冊子に過ぎませんけれども、活字は細こまかし、上下は詰つてゐるし、讀むのにさへ隨ずいぶん分の時間は懸かかります。況まして一行毎いっごとに譯して行くとなつたら、それを專業にする男の手でもさう容易たやすくは出來ません。況まして夫の世話をしたり子供の面倒めんどうを見たり弟の出入に氣を配つたりする間に遣やる家庭的な婦人の仕業しわざとしては全くの重荷に相違ありません。あなたは前後八ヶ月の日子にっしを

費つひやして思ひ立つた翻譯を成じやうじゆ就しゆしたと云つて寧ろ其長そのきに驚おどろかれるやうだが、私は却かへつて其迅そのじんそく速そくなのに感服したいのです。

出版に就つひて私の序文が御入用だとの仰おほせは謹んで承りましたが、私はあらゆるミスに就つひて何事もいふ權利を有もたない無學者なのだから少からず困却します。私は希臘ギリシアの神話に就つひいて、あそこを少し、こゝを少し、と云つた風にうる覺えに覺えてはゐますが、系統的には研究もせず、批判もせず、漫然と今日迄まで經過して來た事を、今日あなたの前に自白しなければならなくなりました。あなたの御譯しになつた原書は、今でもちやんと私の書架しよかの中に飾かざつてあります。それを買つたのは何時いつの頃の事か覺えてゐない位くらゐですから定めさだめし古い昔だらうと思ひます。けれども其昔そのに買つた

本を、今日迄^{まで}まだ一度も眼を通した記憶がないのも慥^{たし}かな事實ですから、私は希臘^{ギリシア}の神話にかけては、あなたよりも遙^{はる}かに無知識なのです。立派な序文の書けやう筈^{はず}がありません。

御存じの通り私は英文學出身のものですから、高等學校在學の頃から歐洲文學の根^{こんてい}柢^{よこた}に横はる二つの寶庫（聖書と希臘^{ギリシア}神話）をいつか機會を見て思ふまゝ熟覽して置きたいといふ希望を抱いてゐましたが、御恥づかしい事に、此^{この}機會は永久に多忙な自分の眼前に遂に出現せず^すに濟^すんで仕舞^{しま}ひました。

私が高等學校にゐる頃同級生に松本亦太郎（今の文學博士）といふ人がゐました。此^{この}人は其^{その}頃熱心な基^{キリスト}督^ト信者でしたが、ある時私に、聖書を日に何頁づゝとか讀むと、丁^{ちやうど}度三年目に新舊兩

約全書を通讀する事になるといつて、それを日課として毎日怠らおこたず繰返くりかへしてあるやうでした。私は其話そのを聞いた時、たとひ私が耶蘇やそ教徒でないにせよ、バイブルは文學上必要の書物だから、さういふ課程をこしらへて、長い間に通讀したら嚙有益さぞだらうと思つて、既に遣り始めようと迄決心までした事があります。然し好きなき事にばかり夢中になり易い、又厭いやな事に始終追しじゆうひ懸かけられてゐた其頃そのの私には、ついに夫それすら果さずじまひに終りました。夫だそれから、私のバイブルに於ける知識は非常に貧弱なものです。さうして私の希臘ギリシア神話おけに於る知識も亦またこれに劣らぬ程憐あはれなものなのに過ぎません。

それがため學校を出て教師をしてゐる時分じぶんには、よく雙方の故

事故典で悩まされました。仕方なしにバイブルのコンコーダンスを左右に置いたりクラシカル字彙といふやうなものを机上に具へたりして、何うか斯うか御茶を濁して通りました。甚だ切ない事でした。切ない許ならまだしも、時によると、馬鹿々々しくて腹の立つ事さへありました。

あなたは何んな動機から神話を譯して御覽になつたかはまだ解らないが、恐らく文學を研究する人の手引草として許ではないでせう。今の人の手にする文學書にはアーナスとかバツカスとかいふ呑氣な名前は餘り出て來ないやうです。希臘のミソロジーを知らなくても、イブセンを讀むには殆んど差支ないでせう。もつと皮肉にいふと、人生に切實な文學には遠い昔しの故事や故

典は何うでも構はないといふ所に詰りは落ちて來さうです。あなたもそれは御承知でせう。それでゐてこんな夢のやうなものを八ヶ月もかゝつて譯したのは、恐らく餘りに切實な人生に堪へられないで、古い昔の、有つたやうな又無いやうな物語に、疲れ過ぎた現代的の心を遊ばせる積りではなかつたでせうか、もし左右ならば私も全く御同感です。其意味を面倒に述べ立てるのは大袈裟だから止しますが、私は自分で小説を書くとそのあとが心持ちが悪い。それで呑氣な支那の詩などを讀んで埋め合せを付けてゐます。夫から大病中徒然を慰めるため繪（繪といふ名はちと分に過ぎるから、繪のやうなものと云つた方が適切ですが）其繪を描いて遊んでゐると、矢張り仙人だの坊主だの山水だのが天然自然題目

になります。是これもある意味に於おいてあなたの神話に丹精たんせいを盡したと同じ動機になるのではありますまいか。弱い神経衰弱症の人間が無暗むやみに他の心を忖度そんたくして好い加減かげんな事を申して濟みません。もし間違つたら御勘辨を願ひます。

最後に神様の名前の發音に就ついて一寸ちよつと申上げます。あなたの發音法は大部分大陸讀方よみかた（コンチネンタル・メソツド）を用ゐられた様やうですが、日本で云ひ慣ならされたバツカスとかキーナスとか云ふのは英吉利讀イギリスよみにされたと見えますから其邊そのへんは一寸ちよつと讀者そくに注意して置いて遣やらないと悪いだらうと思ひます。夫それから又羅ラ甸讀テよみにしてもクオンチチイを付けて發音しないで、のべつに羅馬ローマ字綴りの讀み方見みたやうに遣やつたのがあるなら、夫それも序ついでに斷ことわつて

置いて御遣おやんなさい。

序を書きたいのは山やま々やまですが序らしい序が書けないので此手紙を書きました。若もし序の代りにでも御用ひが出来どるなら何うぞ御使ひ下さいまし。以上。

六月十日

夏目金之助

野上八重子様

(大正二年)

青空文庫情報

底本：「ギリシア・ローマ神話」ブルフィンチ作、野上弥生子訳、
岩波文庫、岩波書店

1978（昭和53）年8月16日改版第1刷発行

1988（昭和63）年8月15日第17刷発行

※底本は、物を数える際や地名などに用いる「ヶ」（区点番号5-86）を、大振りにつくっています。

入力：鈴木厚司

校正：kamille

2004年7月15日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

『傳説の時代』序

夏目漱石

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>